

第5回成田空港緊急戦略プロジェクト会議 概要

- 1 日時 平成22年7月8日（木）午後2時30分～
- 2 場所 三井ガーデンホテル千葉・平安
- 3 出席者 出席者名簿のとおり
- 4 会議概要

(1) 森田知事あいさつ

政府の新成長戦略の決定に先立ち、5月25日に、小泉成田市長とともに、前原大臣に対し、成田30万回への国の積極的支援と、国際線ネットワークの拡充強化について申し入れを行った。県としても、成田空港をアジアNO.1グローバルハブ空港としての地位を揺るぎないものにするため、努めていきたい。

成田スカイアクセスの開業が迫ってきた(注:平成22年7月17日開業済み)が、6月23日、試乗会に参加させていただいた。160km/hというスピードを体感し、ぐっと世界が近くなったと実感したところ。

本日は、これまでの会議の議論をとりまとめ“中間とりまとめ”として整理したいので、忌憚のない意見をいただきたい。

(2) 報告事項（PR本部の活動・政府新成長戦略・カジノ導入検討）

（資料3・4・5に基づき事務局から説明）

(3) 中間とりまとめについて（資料6に基づき事務局から説明）

(4) 意見交換

(京成電鉄)

- ・知事に試乗会に参加いただき、また、一般の方々にも試乗会に参加いただいている。知事の情報発信力でスカイアクセス36分をアピールできた。感謝したい。
- ・弊社では、池袋・新宿と駅貼りポスターを行いPR中。また開業式典なども予定しているが、官民一体となって成田空港のPRが出来ていると感じている。また、NAAとも共同PRを行っているところ。

(NAA)

- ・PRについては、成田スカイアクセスの開業を一つのチャンスと捉え、成田空港のブランド化を図りたいと考えている。“World Skygate Narita”というブランド名で、成田空港をこれからPRしていきたい。

(成田市長)

- ・中間とりまとめで注目したのは以下の3点。これらは、今後の成田空港の展開と合致していると思っている。
 - ①スポーツツーリズムについては、ホテル関係者から“人数が集まり、滞在が長期間にわたり、飲食等の需要もある”との評価があり、スポーツ大会は観光資源
 - ②メディカルツーリズムも、新しい観光という観点から有望

③成田空港は、今後、(30万回発着を前提と考えれば、)ビジネスジェットが増えると思われる。ビジネスジェットの利用者は、時間を買うような方々なので、東京まで出向くのではなく成田など周辺で仕事をする、という需要に合致している。

- ・この3点について、市も注目し、(施策に)取り組んでいきたいと思っている。

(森田知事)

- ・中国からの富裕層を中心に、日本の高度医療が人気だと聞いている。成田空港の特性を十二分に活かし、そうした施策を考えるのも大事だと思っている。

(商工会議所連合会)

- ・成田空港は、ヒトの動きだけでなく、エアカーゴ(航空貨物)も重要なポイント。空港周辺は農業地帯であり、高鮮度商品の輸送も大事。その点で、圏央道を成田まで開通させることが必要。圏央道の開通は、千葉県のみではなく、東京・神奈川・埼玉をはじめ首都圏に非常に大きなメリットがある。
- ・圏央道が出来れば、I Cの周辺に立地を希望する企業が何社もある。圏央道が出来れば、神奈川方面から関越方面まで都心を通過せず行ける。持続的に進めていただきたい。
- ・また空港容量の問題は、飛行ルートの問題も生じる。空港周辺の市町村への配慮も含め、持続的にきめ細かい対応が必要と感じている。

(アイベックスエアラインズ)

- ・圏央道は、最優先で取り組むべき課題。今は、成田空港は貨物取扱が多いが、地理的優位性の高い羽田空港の貨物取扱が増えていくこともあり得る。地理的な面を解決するためにも、平成24年度の圏央道開通はなにより重要と考える。

(森田知事)

- ・圏央道は、最速で取り組まなくてはいけない。国と粘り強い折衝をしていきたい。

(経営者協会)

- ・航空機は、ヒトと同時にモノも運んでいる。統計をみても、成田空港の物流は多い。
- ・成田空港で考えれば、北千葉道路が(外環道まで)整備されれば、外環道で、関越道・東北道・常磐道に接続し、運送効率が一番上がると思う。そうすれば、物流施設の立地・雇用発生につながり、空港周辺の芝山・大栄、湾岸地域に大きな効果があると考えている。

(N A A)

- ・成田空港は、これまで国際拠点空港としての役割を果たしてきたが、これを如何に発展させるかが課題。そのためにも、年間発着30万回に向け、御理解・御協力を得ながら実現化を果たしたい。
- ・そして、LCCやビジネスジェットも含め、マルチエアポートを目指してやっていきたいと思っている。空港の発展が、千葉県の発展にもつながる国際空港を目指したい。

(日本旅行業協会関東支部)

- ・インバウンド観光などの面で、構成団体が協力できると思っている。今後とも宜しくお願ひしたい。

(アイベックスエアラインズ)

- ・中間とりまとめに、国内フィーダー路線のPR・充実を一つの柱としていることについて、感謝申し上げたい。
- ・30万回発着実現はもとより、高需要時間帯の発着枠増が極めて重要。是非実現するようお願ひしたい。

(多古町長)

- ・空港を中心とした経済圏が成立していくが、バランスの取れた施設配置・開発をお願ひしたい。空港東側には、広いエリアがある。千葉県には、是非、高所に立って計画を練っていただきたい。
- ・圏央道と成田空港をつなぐ空港線の整備を是非考えていただきたい。また、以前提案した高速バス拠点・パーク&バスライドも是非考えていただきたい。

(東京空港交通)

- ・高速道路料金の値下げは道路混雑にも影響がある。特に、羽田・成田の一体運用に有用な東京湾アクアラインについては、料金面の対応と渋滞防止面の対応の両面について、御配慮いただきたい。
- ・高速バスの経営という観点からは、成田スカイアクセスは強力なライバル。これを刺激として、バスのサービスレベル向上に努めていきたい。また、バスアクセスの良さ、渋滞回避策の実施などをPRしていきたい。

(森田知事)

- ・中間とりまとめの具体化は、関係者の強力により、高い効果が期待できる。皆様の強力をお願ひしたい。
- ・成田空港は、成田スカイアクセスの開業など、ここに来て利便性が高まっているが、それも認識してもらわなければ宝の持ち腐れ。私自身も、PR活動に全力を尽くしたい。
- ・第3回会議で提案した“カジノ”については、外国人旅行者をおもてなしする機能の一つとして、大変有効な手段だと思っている。ただし、採算性の問題など色んな意見もある。また、国の方針もある。県庁でプロジェクトチームを設置して、国の動向などを見ながら研究を進めていきたい。

※会議資料6のとおり、“成田空港緊急戦略プロジェクト会議”の提言として、中間とりまとめをおこなった。